



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 日油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4403 URL <http://www.nof.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮道 建臣
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 石垣 良一 TEL 03-5424-6600
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	43,553	△2.1	7,007	4.8	7,576	1.3	5,093	△0.4
2019年3月期第1四半期	44,474	6.0	6,685	18.2	7,479	19.2	5,113	22.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 2,645百万円 (△59.3%) 2019年3月期第1四半期 6,502百万円 (14.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	60.52	—
2019年3月期第1四半期	59.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	240,275	177,064	73.4
2019年3月期	244,533	178,285	72.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 176,267百万円 2019年3月期 177,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	32.00	—	46.00	78.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	39.00	—	39.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,000	1.5	28,000	△1.6	29,500	△2.0	21,100	△4.2	250.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	84,841,376株	2019年3月期	84,841,376株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	672,084株	2019年3月期	671,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	84,169,572株	2019年3月期1Q	85,246,059株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(2019年4月1日から2019年6月30日までの3ヵ月間)におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続く中で、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続きました。海外経済におきましては、中国などで成長が鈍化したものの、堅調な米国と緩やかに回復している欧州に支えられ、全般的に底堅く推移いたしました。

当社グループを取り巻く事業環境は、国内需要および欧米などの海外需要に支えられたものの、貿易摩擦の長期化、中国経済の減速などによる下振れの影響が懸念される状況にありました。

このような事業環境下、当社グループは、「さらなる飛躍」を目指し「革新的価値の創造と拡大」を基本方針として掲げ、2019年度を最終年度とする3ヵ年計画「2019中期経営計画」の課題である「新製品・新市場の創出」「生産性の向上」「グループ経営の強化」「CSR活動の推進」を進めるとともに、高機能・高付加価値製品による新市場開拓と拡販ならびに生産コストの低減に努め、持続的成長に向けた経営努力を積み重ねております。

これらの結果、当第1四半期の売上高は、43,553百万円と前年同期比2.1%の減収となりましたが、営業利益は、7,007百万円と前年同期比4.8%の増益、経常利益は、7,576百万円と前年同期比1.3%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、5,093百万円と前年同期比0.4%の減益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①機能化学品事業

脂肪酸誘導体は、アジアにおける環境エネルギー関連の需要が堅調に推移し、売上高は増加しました。

界面活性剤は、トイレットリー関連の出荷が減少し、売上高は減少しました。

エチレンオキサイド・プロピレンオキサイド誘導体は、合成樹脂・樹脂加工向けの需要が減少し、売上高は減少しました。

有機過酸化物は、国内およびアジアでの需要が減少し、売上高は減少しました。

ディスプレイ材料は、中小型液晶パネル関連の出荷が減少し、売上高は減少しました。

特殊防錆処理剤は、国内およびアジアでの需要が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、機能化学品事業の売上高は、31,842百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益は、5,631百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

②ライフサイエンス事業

食用加工油脂は、製菓・製パン用機能性油脂の需要が底堅く、売上高は前年同期並みとなりました。

機能食品関連製品は、売上高は減少しました。

生体適合性素材は、MPC(2-メタクリロイルオキシエチルホスホリルコリン)関連製品のアイケア向けの出荷が減少し、売上高は減少しました。

DDS(ドラッグ・デリバリー・システム:薬物送達システム)医薬用製剤原料は、欧米大口需要家への出荷が増え、売上高は増加しました。

これらの結果、ライフサイエンス事業の売上高は、7,389百万円(前年同期比14.1%増)、営業利益は、製品構成の影響もあり1,871百万円(前年同期比70.9%増)となりました。

③化薬事業

産業用爆薬類は、売上高は前年同期並みとなりました。

宇宙関連製品は、ロケット向け製品の出荷が減少し、売上高は減少しました。

防衛関連製品は、売上高は減少しました。

機能製品は、売上高は前年同期並みとなりました。

これらの結果、化薬事業の売上高は、3,966百万円(前年同期比19.7%減)、営業損失は、444百万円となりました。

④その他の事業

その他の事業は、運送事業および不動産事業から構成されております。その売上高は、354百万円(前年同期比17.9%減)、営業利益は、64百万円(前年同期比29.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べ4,258百万円減少し、240,275百万円となりました。

資産の増減の主な内容は、現金及び預金の増加1,902百万円、棚卸資産の増加3,246百万円、売掛債権の減少7,208百万円、投資有価証券の減少3,350百万円等であります。

負債は、前期末に比べ3,037百万円減少し、63,210百万円となりました。

負債の増減の主な内容は、法人税等の納付による未払法人税等の減少2,472百万円等であります。

純資産は、前期末に比べ1,220百万円減少し、177,064百万円となりました。

純資産の増減の主な内容は、親会社株主に帰属する四半期純利益5,093百万円、その他有価証券評価差額金の減少2,315百万円、剰余金の配当による減少3,871百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当初予想(2019年5月9日発表)に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,767	42,670
受取手形及び売掛金	45,600	37,874
電子記録債権	2,401	2,919
商品及び製品	21,591	22,965
仕掛品	3,528	5,156
原材料及び貯蔵品	11,079	11,323
その他	2,422	2,769
貸倒引当金	△223	△247
流動資産合計	127,168	125,431
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,555	22,263
土地	20,340	20,335
その他(純額)	14,800	15,944
有形固定資産合計	57,695	58,543
無形固定資産		
その他	1,154	1,108
無形固定資産合計	1,154	1,108
投資その他の資産		
投資有価証券	53,576	50,226
退職給付に係る資産	2,066	2,087
その他	2,934	2,940
貸倒引当金	△63	△63
投資その他の資産合計	58,514	55,191
固定資産合計	117,364	114,844
資産合計	244,533	240,275
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,727	19,809
電子記録債務	1,104	1,176
短期借入金	1,128	1,055
1年内返済予定の長期借入金	0	0
未払法人税等	4,792	2,319
賞与引当金	3,311	1,842
その他	12,044	13,672
流動負債合計	42,108	39,876
固定負債		
長期借入金	8,061	8,061
退職給付に係る負債	4,695	4,648
その他	11,382	10,624
固定負債合計	24,139	23,334
負債合計	66,248	63,210

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,742	17,742
資本剰余金	15,115	15,115
利益剰余金	122,657	123,879
自己株式	△2,145	△2,147
株主資本合計	153,369	154,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,224	22,909
為替換算調整勘定	△423	△571
退職給付に係る調整累計額	△675	△659
その他の包括利益累計額合計	24,125	21,678
非支配株主持分	790	797
純資産合計	178,285	177,064
負債純資産合計	244,533	240,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	44,474	43,553
売上原価	29,913	28,595
売上総利益	14,561	14,958
販売費及び一般管理費	7,876	7,951
営業利益	6,685	7,007
営業外収益		
受取利息	28	27
受取配当金	594	591
為替差益	106	—
その他	185	165
営業外収益合計	914	783
営業外費用		
支払利息	14	14
不動産賃貸費用	19	19
固定資産撤去費用	54	50
為替差損	—	104
その他	31	26
営業外費用合計	120	214
経常利益	7,479	7,576
特別利益		
固定資産売却益	0	56
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	—	3
特別利益合計	0	60
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	4	8
ゴルフ会員権評価損	2	—
特別損失合計	6	8
税金等調整前四半期純利益	7,473	7,628
法人税等	2,352	2,535
四半期純利益	5,120	5,092
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,113	5,093

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	5,120	5,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,956	△2,315
為替換算調整勘定	△675	△148
退職給付に係る調整額	100	16
その他の包括利益合計	1,381	△2,447
四半期包括利益	6,502	2,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,506	2,646
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	32,623	6,478	4,941	44,042	431	44,474	—	44,474
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	305	631	3	940	1,939	2,880	△2,880	—
計	32,929	7,109	4,944	44,983	2,371	47,355	△2,880	44,474
セグメント利益又は 損失(△)	5,797	1,094	△136	6,755	91	6,847	△161	6,685

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△161百万円には、セグメント間取引消去151百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△313百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機能化学 品事業	ライフサ イエンス 事業	化薬事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	31,842	7,389	3,966	43,198	354	43,553	—	43,553
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	218	495	4	718	1,996	2,715	△2,715	—
計	32,060	7,885	3,971	43,917	2,351	46,268	△2,715	43,553
セグメント利益又は 損失(△)	5,631	1,871	△444	7,058	64	7,122	△115	7,007

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送、不動産販売および管理業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△115百万円には、セグメント間取引消去229百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△345百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。